

1/2
市 後

民青が取り組み

福井県の日本民主青年同盟は11月29日、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活が困窮する学生に対し、食材を支援する「食材もってけ市」を福井市で取り組みました。チラシを見て友人を連れてきたり、サークルの仲間に声をかけたりして来るなど、合わせて50人の学生が訪れました。

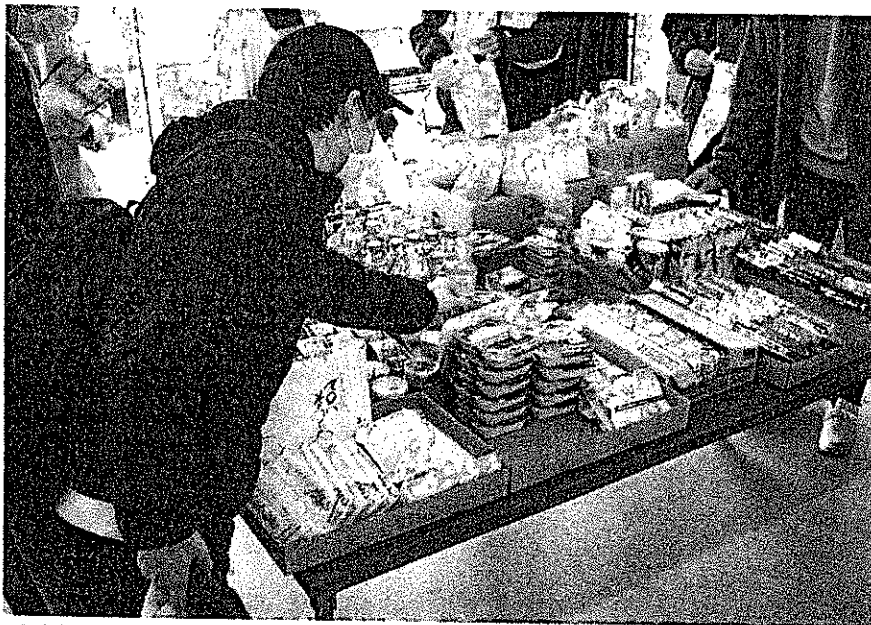
会場には、米、パン、レトルト食品や、取れたての野菜などが陳列され、学生からは「野菜うれしいな、まじで」などの声がかれました。作られたの、お好み焼きにも喜ぶ声がかかれ、「本当に助か

食料の支援に「助かりました」

福井市 学生に「もってけ市」

りました」「(食材を)提供してくれた人にお礼を言いたい」という学生がいました。ボランティアとして手伝う女子学生は「私は、こういう活動が生きがいなんです」と話しました。

会場で学生に呼びかけたアンケートには、オンライン授業に対する「課題の量が多い。わからないところがあっても質問できない」との不満や、生活面で「実習前のアルバイトが禁止になった」との実情を示す回答がありました。年末年始に帰省しないとの回答があり、理由には「アルバイト」「県外に出ると、2週間自宅待機しなければならぬ」と記されていました。



食材を選ぶ学生ら＝11月29日、福井市